

令和4年度 事業概要

法人化7年目を迎え、基盤整備を図りつつ組織の体制を見直すことで、様々な変革に対応できる協会を目指す。

1. 各種大会・事業の円滑な運営

JBAの指導の下、本協会の基盤整備並びに中長期を展望しつつ各カテゴリー・連盟・地区と連携して、各種大会・事業が円滑に実施できるように努める。更に実現に向け、女性の登用やオンライン会議の実施について本協会全体として推奨するとともに、活発な意見交換の場を設ける。

2. D-fund の適切な執行

各カテゴリーに、委員長とは別に D-fund 担当者をおくことで、事業実施報告と会計報告を速やかに本協会に報告するように努める。また、報告もフォーマットに従って適切に行う。事後報告を速やかに、かつ適切に行うことで、D-fund の適切な執行につなげる。

3. 競技力向上の推進

選手の競技力の向上はもちろん、それを支えるための医科学的なアプローチを積極的に導入するための基盤整備を行うことを目的に、D-fund や賛助基金を活用する。

4. 普及活動の推進

近年、競技者およびチーム登録数の減少が目立つ。長期にわたってバスケットボール競技の活性化を図るためにも、既存のカテゴリーの枠にとらわれず俯瞰的な観点からの普及活動を進めていく。また、選手だけでなく、指導者や審判、TOといった形で競技に携わることも普及の対象とする。